

**1. 主催・運営する団体**

本大会の主催・運営は大阪北港ヨットクラブ（OHYC）とする。

**2. 適用規則**

2. 1 セーリング競技規則 2025-2028 (RRS) に定義された規則及び「セーリング装備規則 2025-2028 (ERS)」を適用する。  
 2. 2 外洋特別規定 (OSR) 2026-2027 「付則 B インショアレース用特別規定」を適用する。

**3. 広告**

参加艇は、主催団体により提供される広告を表示するよう要求されることがある。

**4. 参加資格・条件**

4. 1 本大会の開催主旨である、ヨットレースの興隆と参加艇間での親睦の促進等に賛同、寄与いただける艇。  
 4. 2 全長 17 フィート以上のモノハルキャビン付きクルーザーヨットで、日本小型船舶検査機構の有効な船舶検査証を有し、本大会期間中(回航中、事前事後の係留期間を含む)の有効なヨット保険（賠償責任保険、搭乗者障害保険、遭難捜索費用保険）に加入している艇。  
 4. 3 完記された申込書を提出し、且つ、正しく参加料を納付した艇。  
 4. 4 本大会のレース委員会が決定した T C F を承認する艇。  
 4. 5 同一チームによる、艇の変更、複数艇での参加については、事前にレース委員会の了解を得るものとする。  
 4. 6 艇のオーナー又は申込代表者が OHYC 正会員である艇は、年間 1 回以上本大会の運営を支援するものとする。  
 4. 7 OHYC レース委員会が承認した艇  
 4. 8 参加艇数が 3 艇未満の場合はレースを開催しない

**5. 参加料及び申込手続**

5. 1 各大会への参加料は次のとおりとする。但し、1 大会毎の費用とする。

艇登録料	オーナー又は申込代表者が OHYC の 正会員である艇	4, 0 0 0 円
	上記以外の艇	5, 0 0 0 円
乗員登録料 パーティー費を含む	OHYC の会員	1, 0 0 0 円
	上記以外	1, 5 0 0 円

但し、パーティ（食事会）を開催しない時は乗員登録料を 5 0 0 円引きとする。

5. 2 申込先は、OHYC レース委員会宛とする。  
 5. 3 参加申込は、大会 2 日前までに、完記した参加申込書をメールで送付し、参加費を銀行振込で納付する方法とする。  
 尚、申込の確定は参加申込書と参加費用の納付の両方が確認できた時点とし、この確認により出艇申告は免除する。  
 5. 4 当日のレース海面にて参加確認を行うが、参加申込内容に変更が生じた場合には、大会当日の参加確認の際に変更内容の届出を行うこと。

申し込み先

OHYC の Web サイト内のクラブポイントレースのページ内から Web エントリー

**参加費振込口座**

銀行名 三井住友銀行 港支店  
 口座種別・番号 普通口座 No. 1583712  
 口座名義 特定非営利活動法人大阪北港ヨットクラブ  
 クラブレース委員会  
 注意事項 ★振込時には振込人名の前に「艇名」を記載のこと。  
 振込費用は申込者でご負担ください。

5. 6 参加が確定した後は参加料は返却しない。

但し、レースを開催しない場合は全額返却する。

## 6. 提出書類

6. 1 各大会の参加資格に必要な書類は、本公示4の各項に記載のとおり。
6. 2 4. 2に記載の書類を事前に提出する必要はないが、大会参加中は、艇に保管しなければならない。

## 7. クラス

成績上のクラス分けは行わない。

## 8. 日程、レース数

8. 1 各大会の開催日は次のとおりとし、予備日は設けない。又、本大会はRRSに定めるシリーズレースとはしない。

第1回	2026年 3月29日(日)	
第2回	同 4月26日(日)	
第3回	同 7月19日(日)	天神祭奉納ヨットレース
第4回	同 8月23日(日)	
第5回	同 9月27日(日)	
第6回	同 10月25日(日)	
第7回	同 11月 8日(日)	スーパージョイントカップ (KYC 主催)
表彰式	同 12月12日(土)	Xmas パーティー (別途案内します)

8. 2 各開催日における時間割は次のとおりとする。(あくまでも目安のため、最終は帆走指示書にて確認ください)

08:45~09:00 出艇申告(参加申し込みから変更があった場合のみ)

10:55 予告信号(1レース)

14:00 タイムリミット

15:00(開始予定) 食事会(メルボルンハウス) 約1時間半とし、遅くとも16:30には終了する  
食事会の担当チームは別途案内します

8. 3 各大会において、レース数は1レースを予定する

## 9. 公式掲示板と帆走指示書等

9. 1 各大会の公式掲示板は、LINEを使用するので、参加各艇は必ず事前に登録すること。紙等による掲示は行わない  
オンライン公式掲示板(LINEオープンチャット)  
公式掲示およびその他の通告等をLINEオープンチャットで発信します  
このQRコードから参加ができます



9. 2 帆走指示書は各レースの一週間前までにOHYCのWEBサイトならびにLINEオープンチャットにて公開する。

## 10. レースエリア、レースコース

10. 1 レースのエリアは、原則、大阪湾西宮一文字防波堤沖とする。
10. 2 レースのコースは、帆走指示書に記載する。

## 11. 順位および時間修正システム

11. 1 各艇の所要時間にT.C.Fを乗じた修正時間(秒単位)により順位を決定する。

$$(\text{修正時間(秒)}) = \text{T.C.F} \times \text{所要時間(秒)}$$

- 1 1. 2 各艇間で同一修正時間となった場合は、T.C.F. 値の低い艇を上位とする。
- 1 1. 3 レース委員会は参加各艇の T C F を決定する。
- 1 1. 4 各大会において複数レースを開催する場合には、同一日での TCF は変更しない。

## 1 2. 安全規定・個人用浮揚用具(ライフジャケット)

- 1 2. 1 レース予定海域で使用できる 1 台以上の携帯電話を携帯しなければならない。申込時に届出のこと。
- 1 2. 2 艇には、「付則 B インショアレース用特別規定」5.01.1 に規定された個人用浮揚用具を装備すること。
- 1 2. 3 J S A F 非登録艇の場合は、前項の機能を備えた「小型船舶安全規則に規定する小型船舶用救命胴衣（認証済・桜マーク付）でなければならない。
- 1 2. 4 個人用浮揚用具（ライフジャケット）は、レースのため陸上・棧橋から離れる出港時から、帰港し陸上・棧橋に係留が完了するまで間、常に着用しなければならない。

## 1 3. 無線の使用[NP]

- 1 3. 1 出艇申告時にレース委員会が配布する GPS 端末(スマホ)を艇に搭載することを求める場合がある。
- 1 3. 2 レース委員会は V H F 7 3 チャンネルにより参加艇にレースの案内、スタート、リコール等のアナウンスを行う場合があるので、無線機の艇への搭載を強く薦める。  
尚、チャンネルを変更する場合には別途（帆走指示書、LINE、VHF 無線）指示する。
- 1 3. 3 レース中の携帯電話等による SNS 等への発信等は許される。従って、これらの情報は抗議・救済の根拠とはならない。

## 1 4. 得点

- 1 4. 1 本レガッタでは、レースポイントの付与と共に、ボーナスポイントを付与することがある。ただし、1 つの艇に同一のレースにおいて、両ポイントが合わせて付与されることはない。
- 1 4. 2 レースポイントは RRS に基づくレース成績への得点とし、次のとおり付与する。  
第 1 位：3 0 点 第 2 位：2 7 点 第 3 位：2 5 点 以下、各順位で 1 点ずつ減らして付与する。
- 1 4. 3 ボーナスポイントは、レース成績以外の得点として、レース委員長の判断による付与することができる。

## 1 5. 賞及び表彰

- 1 5. 1 本大会は年間で獲得するポイントを争うものとする。従って、各大会では成績の発表のみ行い、表彰は行わない。
- 1 5. 2 表彰する範囲は、年間を通じて開催されたレース数の 1 / 2 以上に参加した艇とする。  
従って、年間を通じてボーナスポイントしか得ていない艇は、年間成績上の表彰対象とはならない。
- 1 5. 3 各艇の年間ポイントについては、次の条件に従って、最も悪い得点 1 レースを除外することができる。  
但し、4 レース以下しか成立しなかった場合は、除外は行わない。
- 1 5. 3 表彰は、OHYC が別途開催する Xmas パーティーの席上で行うものとする。（詳細は別途案内する。）

## 1 6. 責任の所在

- 1 6. 1 本大会の競技者は自分自身の責任で参加するものとする。R R S 4 参照のこと。
- 1 6. 2 主催団体は、各開催日の前後、期間中に生じた物理的損傷、又は身体傷害もしくは死亡によるいかなる責任も負わない。

## 1 7. 著作権

- 1 7. 1 本大会におけるメディア規定を定める。
- 1 7. 2 主催団体は、参加艇の一部または全部に対して、スマートフォンその他の機器による航跡追跡及びそのデータ取得等のための機器の搭載を要請する場合があります、要請を受けた参加艇はこれを拒むことができないものとする。  
又、航跡追跡のデータにかかる所有権、著作権、その他一切の権利は、すべて主催団体に帰属するものとし、レース参加艇は、その利用について一切の異議を述べない。機器類は主催団体が準備する。
- 1 7. 3 主催団体はレース準備中ならびにレース中に、無人ヘリコプターその他の機器による映像の撮影を行うことがあり、参加艇はこれを承諾する。また、撮影された映像の権利はすべて主催団体に帰属するものとし、参加艇は、肖像権その他の権利を行使せず、また、当該映像の複製、上映、その他の利用について一切異議を述べないものとする。

\*\*\*\*\* その他追加情報 \*\*\*\*\*

A. 大会事務局（2026年）

大会の事務局およびレース本部は、大阪北港マリーナ内のメルボルンハウスに置く。

〒554-0052 大阪市此花区常吉2丁目13番18号  
大阪北港ヨットクラブ レース委員会  
委員長 宇都宮則夫 E-mail ohyc\_race@yahoo.co.jp

B. 大会 WEB サイト 大阪北港ヨットクラブ ホームページ内に開設する。

大会公式掲示板 次のLINE サイトとします



C. 参加艇の係留

参加艇の大阪北港マリーナへの係留については、別途指示します。なお北港マリーナ内、及び周辺の水深が浅くなっている為、潮汐にはご注意ください。35フィートを超える艇では、低潮時には入港、係留に差支えが起きる場合もあります。特に入港出港に際しては、マリーナ西側の開口部は避けて、南側（舞洲側）開口部を利用ください。

D. 外洋特別規定（OSR）2026-2027「付則B インシヨアレース用特別規定」

- パートB 携行品 個人用浮揚用具の条件は、
- a) 笛が装備されている。
  - c) 艇名か着用者の名前が明記されている。
  - d) 膨張式の場合、定期的に空気保持のチェックがなされ、適用クラス規則または帆走指示書で指定されない限り個人用浮揚用具は150ニュートンの浮力を有し、人の顔を水面上約45度以上向きで保持できなければならない。

E. 【参考】海上保安庁による海上での臨検においては、最近の傾向として、個人用浮揚用具と共に **救命浮環** の確認が行われます。指示に対して直ちに応じられるように、出港の際には予め準備ください。

以上